

世界中を混乱に陥れている新型コロナウイルス。発生から1年が経つというのに、その威力は衰えるどころかますます感染を広めています。誰もが経験したことがないこの事態。このまま以前の生活には戻れないのではないかと見えない敵に不安が募りますね。

そんなコロナ禍の中でも、こどもの成長は目ざましくまた、頼もしく感じられます。出産された方や子育てをされているご家庭は、この一年をどう感じられたのでしょうか？

9月に江崎グリコ株式会社が「コロナ禍における子育てに関するパパママ意識調査」として、妊娠中または0～2歳の子どものいるパパママ600名を対象に行ったインターネット調査結果がありましたのでご紹介します。



- ・7割以上のパパママが、新型コロナウイルスは子育てに影響があったと回答。そのうち、約6割の方が「家族で一緒に過ごせる時間が増えた」と回答の一方で、コロナ禍の子育てで孤独感や心細さを感じているママは約7割。その理由としては「地域のコミュニティに参加できない」「他の子育て中のお母さんと交流できない」など、外の世界との接触機会が減ったことが主な原因となっているようです。
- ・子育てをする上で重要だと考えること1位は、パパママ共に「夫婦で協力して子育てに当たること」。しかし、男女で20%以上回答数に差があり、家族で一緒に過ごせる時間が増えても、未だに夫婦で協力して子育てすることに男女間で意識差があるようです。
- ・子育てにおけるママの悩みは1位「1人でリラックスする時間が取れない」、2位「感情のコントロールができない」、3位として「パートナーの子育てに対する知識・理解が十分でないこと」が挙げられました。
- ・パパママがそれぞれどこから子育てに関する情報を得ているかを聞いたところ、ママはWEBサイトやSNSに次いで、「友人・知人」や「ママ友」と回答。一方パパは、7割以上が情報収集源を「パートナー」と回答し、夫婦間で子育てに関する情報や知識が“ママ頼り”になってしまっていることが明らか。



全てのご家庭がアンケート結果通りとは限りません。また、パパ、ママそれぞれの大変さも良くわかります。

新しい年は家族が協力して、コロナを克服した希望の年にしたいものですね。